

Evolving our core

1 経営基盤の強化

- 3 ステークホルダーの皆様へ
- 5 川崎重工グループの価値創造プロセス
- 7 付加価値の高い新製品・新技術の創出で持続的な社会の実現に貢献
- 9 持続可能な社会の実現に向けて
- 11 取締役および監査役
- 13 パフォーマンスハイライト

15 企業価値向上を実現する戦略

- 16 トップメッセージ

21 多様な自動化ニーズにロボット技術で応える

25 コアコンピタンスを活かした成長戦略

- 27 船舶海洋
- 29 車両
- 31 航空宇宙
- 33 ガスタービン・機械
- 35 プラント・環境
- 37 モーターサイクル&エンジン
- 39 精密機械

41 価値創造を支える基盤

- 川崎重工グループのCSRの取り組み
- 43 コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス/リスク管理
- 47 人材の育成と活用
- 49 お取引先との協働/人権
- 50 社会貢献
- 51 地球環境問題への取り組み
- 53 11年間の主要財務データ

- 55 役員紹介
- 57 会社概要/株式情報
- 58 拠点/主要関係会社紹介

表紙
双腕スカラロボット「duAro」
詳細はp21



川崎重工グループの情報開示体系

川崎重工グループの価値創造と持続的成長についての説明	Kawasaki Report 2017 						
詳細情報および最新情報の公表	川崎重工業Webサイト https://www.khi.co.jp/	IR情報	企業情報	製品情報	技術情報	CSR情報	環境情報
さまざまなステークホルダーに対する情報発信							
	有価証券報告書	Business Report	コーポレート・ガバナンス報告書	川崎重工 技報	環境報告書		

財務情報 <-----> 非財務情報

2007年、川崎重工グループは21世紀において果たすべき社会的使命や、ブランド価値向上のため共有すべき価値観、経営活動の原則、構成員一人ひとりの日々の行動に求められる指針を盛り込み、グループ全体の羅針盤として「カワサキグループ・ミッションステートメント」を制定しました。

■ **グループミッション** (社会に対する役割)
「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」

川崎重工グループは、広汎な領域における高度な総合技術力によって、地球環境との調和を図りながら、豊かで美しい未来社会の形成に向けて、新たな価値を創造します。

■ **カワサキバリュー** (重きを置く価値: 戦略・施策立案の立脚点)

- 多様なお客様の要望にこたえる
- テクノロジーの頂点を目指す
- 独自性・革新性を追求する

■ **グループ経営原則** (グループ経営の指針、経営活動における原則)

1. 高機能・高品質で安全な製品・サービスを世界の人々に提供する。
2. 社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する。
3. 労使の信頼を企業文化とし、グローバルに“人材”を育成・活用する。
4. “選択と集中”“質主量従”“リスクマネジメント”を指針とし企業価値向上を図る。

■ **グループ行動指針** (日々の業務遂行においてとるべき行動の指針)

1. グローバルで長期的な視点に立つ。
2. 困難な課題に挑戦する。
3. 目標の実現に向け、最善を尽くす。
4. 社会と人々から信頼される企業人となる。
5. 自主独立のプロフェッショナルとなる。
6. 誇りと喜びを共有する、カワサキのよきメンバーとなる。

編集方針 川崎重工グループは、2013年度よりアニュアルレポートとCSR報告書を統合し、統合報告書として「Kawasaki Report」を発行しています。

本レポートを通して、さまざまなステークホルダーの皆様へ、社会価値創造と企業価値向上に向けた取り組み、経営方針、事業環境・戦略、および環境・社会・ガバナンスに関する情報(ESG情報)の主なものをお伝えしてまいりますので、当社グループに対するご理解を深めていただければ幸いです。

その他詳細な情報は、当社Webサイトでも公開しておりますので、ぜひご覧ください。

IR情報: <https://www.khi.co.jp/ir/>
 CSR情報: <https://www.khi.co.jp/csr/>
 環境情報: <https://www.khi.co.jp/csr/earth/>

対象期間	2016年度(2016年4月1日~2017年3月31日) (注)一部2017年度の情報も含む
対象範囲	川崎重工業株式会社および連結子会社94社(国内42社、海外52社) 持分法適用非連結子会社18社 (注)一部は単体情報
参考ガイドライン	● グローバル・レポーティング・イニシアチブ(GRI) 「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第4版(G4)」 ● 国際統合報告評議会(IIRC) 「国際統合報告フレームワーク」 ● 環境省 「環境報告ガイドライン(2012年版)」
発行頻度	原則年1回発行 ● 前回発行 2016年8月 ● 次回発行 2018年8月予定
お問い合わせ先	当社Webサイトのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。 https://www.khi.co.jp/contact/